

日印産連表彰受賞者の紹介

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、「9月 印刷の月」記念式典において表彰が行われる。本年度は7月22日に開催された表彰選考委員会の審議を経て、同日のステアリング・コミッティで承認され、7月30日に開かれた第3回理事会にて決定された。

本年は日印産連設立40周年の節目にあたり、従来の各賞による表彰に加えて「40周年特別表彰」を設けた。40周年特別表彰 日印産連役員永年功労者3名、日印産連事業永年功労者2名、日印産連永年功労団体10団体に加えて、従来の印刷功労賞11名、印刷振興賞17名、特別賞1団体が表彰を受けた。

日印産連設立40周年特別表彰

◆日印産連役員永年功労者

日印産連役員(理事職以上)の在任期間が20年以上で、当会の運営に多大な貢献が認められる者

◆日印産連事業永年功労者

日印産連の事業活動(認定事業・調査研究・コンクール等)に多大な貢献が認められる者

◆日印産連永年功労団体

日印産連の賛助会員として、当会の運営に多大な貢献が認められる団体

日印産連表彰規定(抜粋)

◆印刷功労賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。

- ①印刷産業界にあって団体運営を通じて印刷産業の発展向上に寄与した者
- ②その他、前項に準ずる者

◆印刷振興賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。

- ①業務の進歩改善に著しく貢献した者、若しくは特に技術優秀な者又は優れた発明考案をした者
- ②多年にわたり後進の指導並びに業界指導に貢献した者
- ③その他、前項に準ずる者

◆特別賞は次の各項のいずれかに該当する者(団体を含む)に授与する。

- ①地域社会の諸活動を通じて地域の振興に貢献し、以て印刷産業界の地位向上に寄与した者
- ②福祉活動を通じて社会に貢献し、以て印刷産業界の地位向上に寄与した者
- ③その他、前項に準ずる者

日印産連設立40周年特別表彰

日印産連役員永年功労者

日印産連役員(理事職以上)の在任期間が20年以上で、
当会の運営に多大な貢献が認められる者



田 畠 一 彌

株式会社久栄社

所属団体：印刷工業会・全日本印刷工業組合連合会

理 事：昭和60年5月23日～平成6年6月14日(印刷工業会)

常任理事：平成6年6月14日～平成10年6月14日(全日本印刷工業組合連合会)

理 事：平成10年8月27日～平成14年6月14日(印刷工業会)

常任理事：平成14年6月14日～平成23年6月8日(印刷工業会)

計26年間



下 谷 隆 之

株式会社千修

所属団体：印刷工業会

理 事：平成3年6月13日～平成20年6月14日(印刷工業会)

常任理事：平成20年6月14日～平成26年6月11日(印刷工業会)

計23年間



浅 野 健

株式会社 金羊社

所属団体：全日本印刷工業組合連合会・印刷工業会

副 会 長：平成16年6月14日～平成20年6月14日(全日本印刷工業組合連合会)

常任理事：平成20年6月14日～平成22年6月14日(印刷工業会)

副 会 長：平成22年6月14日～令和4年6月16日(印刷工業会)

相 談 役：令和4年6月16日～現在(印刷工業会)

計21年間

日印産連事業永年功労者

日印産連の事業活動(認定事業・調査研究・コンクール等)に多大な貢献が認められる者



須田 治樹

(旧)凸版印刷株式会社～グリーンプリンティング認定審査員

- リサイクル紙製商品研究委員会委員(平成11年～平成18年)
- グリーン購入検討会・GP推進部会委員(平成12年～平成27年)
- 環境対応協議会委員長(平成13年～平成17年)
- 環境優良工場表彰審査委員会委員(平成14年～令和元年)
- グリーンプリンティング認定審査員(平成19年～現在)
(グリーンプリンティング認定制度創設時より審査員を務める)



牧山 嘉道

リップル法律事務所弁護士、弁理士

(一財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) プライバシーマーク審査委員会委員
日弁連・国際交流委員会委員長

- プライバシーマーク審査センター審査委員長(平成19年～現在)
(プライバシーマーク審査センター設立以来、審査委員長を務める)

日印産連永年功労団体

日印産連の賛助会員として、当会の運営に多大な貢献が認められる団体

- 印刷インキ工業会
- 環境保護印刷推進協議会
- 全国グラビア製版工業会連合会
- 公益社団法人日本印刷技術協会
- 一般社団法人日本印刷産業機械工業会
- 日本製紙連合会
- 日本洋紙板紙卸商業組合
- 日本洋紙代理店会連合会
- 一般社団法人日本WPA(日本水なし印刷協会)
- プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会

(五十音順)

印刷功労賞

富岡 忠司

共同印刷株式会社
常務執行役員
生活・産業資材事業本部長

印刷工業会



受賞理由

印刷工業会においては、2020年度から2021年度にかけて軟包装部会の幹事長を務め、業界内の情報発信や会員企業間の連携強化を推進し、印刷業界における包装事業の振興と発展に大きく寄与した。自社においては、包装事業部門において長年にわたり営業部門の責任者を務め、顧客ニーズを的確に捉えた提案活動を展開するとともに、新規市場の開拓や既存顧客との信頼関係の構築に尽力し、共同印刷の包装事業の拡大に大きく貢献した。

野口 晴彦

TOPPAN株式会社
専務執行役員
生活・産業事業本部長

印刷工業会



受賞理由

1985年の入社以来、パッケージ事業分野を中心に活躍し、秘書室長・中部事業部長等を経て2022年より現職。2012年より印刷工業会軟包装部会長を8年間務め、印刷業界における軟包装事業のさまざまな課題解決に尽力したほか、2023年より軟包装衛生協議会会長(25年より副会長)、2022年より紙製容器包装リサイクル推進協議会会長(現任)など要職を歴任し、わが国の包装業界の発展に大きく貢献している。

白橋 明夫

株式会社白橋
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成28年度から令和6年度までの8年間、全印工連の常務理事、東京都工組副理事長・常務理事を、令和2年度から4年間、東京地区印刷協議会会長などの要職を務める。この間、全印工連において、組織共済委員会委員長として、「魅力ある組合づくり」を目指し、全国の組合員加入増強運動や各種共済制度加入促進キャンペーンを推進して大きな成果を上げるなど、印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

土屋 勝則

音羽印刷株式会社
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成26年から令和6年にかけて、全印工連常務理事、東京都工組副理事長・常務理事などの要職に就く。この間、全印工連教育研修委員会委員長として、経営者研修会や人材育成セミナーの企画・開催支援、印刷営業講座、印刷営業士認定試験などの制度教育事業の実施、オフセット印刷作業をはじめとする技能検定実施への協力など、様々な教育事業の推進に努め、現在の全印工連教育事業の礎を築いた功績は多大である。

添田 秀樹

TOPPANエッジ株式会社
相談役

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

ビジネスフォーム業界のリーダーとして、TOPPANエッジにて要職を歴任し、営業のみならずグローバル事業や企画販促等で得た豊富な経験と知識を生かし、永年にわたり業界を牽引してきた。また、2024年には日本フォーム印刷工業連合会の会長、そして日本印刷産業連合会の副会長として、時代の変化に対応した構造変革に自ら取り組み、ビジネスフォーム業界の地位向上に寄与するとともに、団体活動を通じて印刷業界の発展に貢献した。

尾形 文貴

株式会社みつわ
代表取締役会長

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2008年から現在まで理事、監事、副会長を務める。「経営基盤確立委員会」の委員としてインターネット放送「ジャグラーBB」を中心とした教育事業を推進。「環境対策委員会」「CSR委員会」等の委員および委員長を務め、通算10年間にわたり印刷会社の環境対応の啓蒙に尽力。2012年より2015年まで「個人情報保護委員会」の委員に就任、Pマーク制度普及に務めるなど、中小印刷業の経営品質向上に貢献した。

宮地 啓一

株式会社九秀製本ドットコム
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

全日本製本工業組合連合会 副会長および福岡県製本工業組合 理事長、副理事長の要職を歴任。組合員の減少が続く地方組合の組織運営が困窮する中で、全国組合の事業運営を牽引している。2025年9月には全国大会福岡大会を開催実現し、地方小規模な工業組合ながら全国から組合員参加者を招き入れ、地域関連業界一丸となって成功裏に導くことで、今後の業界における新たなモデルを提示した。

坂本 研一

株式会社九州クラフト工業
会長

全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

全日本シール印刷協同組合連合会副会長として3期6年務めて、地元九州シール印刷協同組合理事長を重任した。連合会技術委員の経験生かして、この間の九州協組では「工場長会（若手経営者）」を立ち上げ、自由闊達な活動を後押しして今の九州協組の礎を作った。この「工場長会」は全国の他協組にも刺激を与えていて、「組織の活性化」「シール印刷の技術力向上」に尽力された。

印刷功労賞

母里 圭太郎

株式会社 平野屋物産
代表取締役

全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

13年間にわたり、九州グラビア協同組合の副理事長・理事長、12年間にわたり、全国グラビア協同組合連合会の理事・副理事長として組合運営に注力戴きました。また、若手組合員の先輩として啓蒙活動や新しい包材開発についても成果をあげられた。

田中 潤一郎

有限会社田中凸版
会長

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

2009年より九州グラフィックコミュニケーションズ工業組合の副理事長として8年間組合活動を支え、各行事を通して組合のコミュニケーションを図る。2017年5月より理事長並びに日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会の副会長として組合活動全般を支えている。現在も会員数が減少する地区工組の現状をしっかりと捉えるとともに、全国組織の中でも副会長としての的確な意見を出し、今後の組合の在り方に対し積極的に発言し行動している。

中村 清泰

株式会社 東プリ
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル印刷
協同組合連合会



受賞理由

約20年の長きにわたり、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会の役員として連合会活動の円滑な推進に貢献した。また、2022年～2024年までは西日本スクリーン・デジタル印刷協同組合の理事長として、2025年に大阪で開催された全国大会の企画・準備に注力した。さらに、特許を取得した転写シートなど技術開発の重要性を業界の若手に積極的に啓蒙した。

印刷振興賞

猪野 正人

株式会社DNPグラフィカ
代表取締役社長

印刷工業会



受賞理由

1981年4月、大日本印刷株式会社入社。商業印刷の生産管理部門に従事し、2015年4月、株式会社DNPグラフィカ生産管理本部副本部長に就任。生産プロセスの最適化等に取り組み、2015年10月に取締役に就任。「人的資本ポリシー」を重視し、長期視点・人材育成・多様性の尊重・挑戦する文化の形成に尽力しつつマーケティング事業の業績確保に大きく貢献した。

木田 幸延

株式会社千修
執行役員
制作管理本部 本部長

印刷工業会



受賞理由

株式会社千修入社後、主に営業部門で営業部長、執行役員営業本部長として金融機関等の主要顧客を担当、業務内容のデジタル化の流れにも迅速に対応し、売上基盤の拡大に寄与した。その後、執行役員制作管理本部長として、制作進行管理のDX化にも対応しつつ、高品質な制作物を安定的にかつ迅速に供給する生産体制を確立するとともに、印刷技術の継承を主要テーマに後進の育成にも尽力している。

道用 雅浩

TOPPANエッジ株式会社
シニアアドバイザー

印刷工業会



受賞理由

1984年に凸版印刷(当時)入社以来、セキュア系事業を中心に活躍。印刷工業会においては、2020年より情報セキュリティ部会(旧 証券部会)部会長としてその活動を牽引し、次世代ICカードシステム研究をはじめ、新たなマーケットへの対応の前提となる新技術・知識の習得機会提供を積極的に推進するなど、セキュア印刷産業の発展に大きく寄与している。

南 敏之

日本製紙リキッドパッケージ
プロダクト株式会社
江川事業所 製造部長

印刷工業会



受賞理由

入社以来39年間、2工場において液体紙容器の印刷・製造業務に携わり、印刷技術向上とともに品質安定・操業改善に寄与している。グラビア、オフセット及びフレキソ印刷機の操業経験があり、印刷に関する技術知見が幅広く、豊富であり、印刷機・製版・インキメーカーからの信頼が厚い。長年の卓越した技能と指導力をもって後進育成にも積極的に対応しており、事業所ひいては会社の成長にも大きく貢献している。

岩永 寛毅

有限会社三省堂印刷所
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

令和2年からの5年間、全印工連理事、長崎県工組理事長として、心態変革事業や幸せな働き方改革などの全印工連各種事業を積極的に推進したほか、本木昌造顕彰会会長として印刷文化財保存に尽力し、業界発展に寄与した功績は多大である。

岩淵 均

関東図書株式会社
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成28年から令和2年の4年間、全印工連理事、埼玉県工組理事長の要職を務める。また、全印工連では、長年に亘り官公需対策協議会幹事を務め、中小印刷業界の主要な取引先である官公庁からの受注(官公需)に関する取引改善を進め、特に、知的財産権の保護活動に大きく貢献した。

印刷振興賞

筒井 善樹

筒井紙業印刷株式会社
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

令和2年から全印工連理事および高知県工組理事長、四国地区印刷協議会副会長の要職を務める。また、平成26年から、組織共済委員会の委員を務め、組合員加入増強活動や共済制度加入促進キャンペーンの推進に尽力し、多大な成果を上げた功績は顕著である。

永野 修一

北陽ビジネスフォーム株式会社
代表取締役会長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

北海道フォーム印刷工業会の理事及び会員として、業界活動に積極的に参画し、地域の印刷関連事業の振興に尽力。技術向上や情報共有を通じて北海道印刷業界の発展に多大な貢献を果たしている。

福田 和寿

MCP株式会社
取締役製造本部長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

入社以来40年の長きにわたり、製造部門から営業部門まで幅広い分野でビジネスフォーム業界の発展に貢献した。また関東フォーム印刷工業会では、理事および副会長として団体の活動に積極的に関り、特に「活性化委員会」のメンバーとして自らリーダーシップをとり、若手会員の育成に取組み、当会の活動活性化に大きく貢献した。

本村 豪経

アイメディア株式会社
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2017年から現在まで理事を務める。2018年から2022年まで青年部代表幹事に就任。2022年より広報委員会委員長として動画配信、機関誌、広報アプリ運営等、社団の情報発信の中核を担っている。

渡邊 辰美

株式会社あいわプリント
代表取締役社長

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2018年より現在まで、全国理事を務める。また、2018年から現在まで北海道地方協議会 地協会長、2014年より現在まで北海道支部 支部長を務め、地協支部活動に貢献した功績は多大である。

小木 忠之

小澤製本株式会社
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

2018年より全日本製本工業組合連合会理事ならびに東京都製本工業組合 経営・環境委員長を歴任。日印産連グリーンプリンティング推進部会委員歴は現在まで10年間に及び、GP認定制度の普及推進ならびに業界の環境保全事業へ果たした功績は大きい。

鶴田 龍士郎

株式会社 京都シールレーベル
代表取締役社長

全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

全日本シール印刷協同組合連合会では、常務理事兼技術特許委員長を6年務めて現在も常務理事は重任している。この間、毎年実施のシールラベルコンテストでは「規定課題」の応募活性化に取り組むため勉強会を主催して実施している。また、技術特許委員長在任中には、当連合会にある4委員会を活性化することに着目して「4委員会合同セミナー」を開催してシリーズ化した。

山口 圭介

富士特殊紙業株式会社
常務取締役

全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

外国人材をグラビア業界に導入するテーマに早くから取り組み、日本人と同等に手厚く親切に指導に努められ、自ら日本語教室を開いて、日本語指導に注力され効果をあげられた。また、グラビアの3K対策に取組み、年をとっても誰でもオペレーションできるグラビア印刷機とその周辺機器の開発にも当たっておられる。

錦山 慎太郎

株式会社 共栄メディア
代表取締役社長

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

枚葉デジタル印刷機を活用した色校正を考案し、デジタル印刷による色校正を市場に広く普及、浸透させた。色校正市場のゲームチェンジャーとして、印刷業のデジタル化を推進した功績は特筆するに値する。

宮坂 次郎

株式会社 新興ブランド社
専務取締役

全日本スクリーン・デジタル印刷
協同組合連合会



受賞理由

透明なUVインキを立体的に盛り上げ印刷する点字印刷を開発し、従来のエンボス式に比べ、摩耗による汚れ、潰れが少なく、耐久性に優れていると高い評価を得た。また全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会専務理事として、2022年11月に開催した創立50周年記念式典の運営を主導し、講師に菅義偉第99代総理大臣を招くなど業界のイメージ向上に大きな貢献を成した。

工藤 久敏

株式会社 日本美術ライト商会
代表取締役

全日本光沢化工紙協同組合連合会



受賞理由

組合減少により財務状況が厳しくなり、堅実な組合運営が求められる状況において、適正に会計処理が行われているか厳しい目線で監査を行っている。ベテラン組合員と若手組合員のパイプ役となり組合活性化に努め、幅広い知識と経験で組合事業、運営に尽力している。様々な行事に積極的に参加し、組合を大いに盛り上げている。

特別賞

大阪府印刷工業組合

全日本印刷工業組合連合会

デジタルの時代だからこそ 「紙」の良さを啓蒙する 「紙育」イベント！ ペーパーサミットの開催

大阪府印刷工業組合 理事長 高本 隆彦

受賞理由

大阪府印刷工業組合では、「印刷(紙)はもっと楽しい!」「印刷(紙)はもっと面白い!」「印刷(紙)の可能性は無限大」をキーワードに、印刷の可能性を業界以外に広く周知するイベントとして、「ペーパーサミット」を令和4年から毎年開催している。新たな市場の開拓、新しいビジネスの種を育てることや、紙の大切さ、楽しさを知っていただき、クリエイターとコラボし、商品や企画を共に作り上げることで、自ら打って出られる力を養うため、印刷会社とクリエイターとのプレゼン会も行っている。今後も「紙」の良さを知ってもらうための本イベントは、中小印刷会社自身が印刷の魅力と可能性を発見することで、中小印刷業界の発展・振興に大きく貢献している。

